

# 東邦歯科医療専門学校 自己評価表 歯科衛生士学科

## 1. 学校の教育目標

- ・ 歯科医療の発展に貢献する人材の育成
- ・ 国民衛生の向上に寄与する人材の育成
- ・ 社会福祉に奉仕する人材の育成

本校公式 HP より

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### 1. 外国人留学生の教育支援の充実

- ― 言語・文化の違いを踏まえた個別指導や学習支援体制の強化
- ― 日本語補習や医療専門用語の理解促進プログラムの導入

### 2. 成績評価の細分化とレベル別指導の実施

- ― 評価項目の透明化・多角化（本試験・実習・レポート・出席率）
- ― 成績に応じたグループ分けや個別補強で基礎力の定着を図る

### 3. 進級・単位修得を目指す補講体制の強化

- ― 欠席・理解不十分な学生への補講・再試制度の柔軟な運用

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

### （1）教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか （専門分野の特性が明確になっているか）	4	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	4	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向 けて方向づけられているか	4	3	2	1

### ○課題

理念の実践と日常指導との一貫性の確保。  
理念は掲示や配布を通じて浸透しているが、日々の授業や指導が理念と  
結びついているかを定期的に振り返る必要がある。

○今後の改善方策

全教職員が理念に基づいた教育方針を共有し、一貫した指導体制を維持することが課題

○特記事項

(2) 学校評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

○課題

LMS の導入と活用

- ・教育理念に基づくきめ細やかな個別支援や学修の可視化を実現するためには、LMS 導入が不可欠である。来年度の運用に向けシステム開発中である。

○今後の改善方策

教職員の ICT スキル向上と、LMS 運用の研修・マニュアル化も必要  
紙による運用からの移行には、教職員・学生双方のリテラシー対応や環境整備（端末・Wi-Fi など）を行う予定

○特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の 工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・ 見直し等が行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、 実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 ③ 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保 しているか	4 ③ 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保 するなどマネジメントが行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1

○課題

審美歯科、障害者歯科、インプラントなど専門分野の知識や技術、経験値  
の高い教務人材の確保。新規臨床実習受け入れ先の継続依頼。

○今後の改善方策

特定分野の「特別講義シリーズ」や「外部講師月間」などを企画し、  
カリキュラムに専門性を補完。また、実習先にとっての利点（最新の知識  
交流、若手人材との関係構築など）を資料化し、協力依頼時に明示する。

○特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1

○課題

3年生への国家試験対策は計画的に実施され、アンケート結果でも学生満足度は高かった。

しかしながら全員合格には至らず、対策の質・量ともに今後のさらなる改善が必要。精神的サポートや不安に対するメンタル面の支援体制の整備。

春に実施した就職ガイダンスには40施設が参加し、多くの学生が早期に内定をした。これにより、国家試験勉強に集中できた学生も多かった点は好評価。ただし、就職活動が早期に完了しなかった学生に対するフォロー体制の強化が課題。

○今後の改善方策

国家試験対策：個別最適化・実力分析・精神面支援の三本柱で強化

就職支援：早期支援と学修時間の両立を支える体制を維持・拡充

卒業後フォロー：卒業生とのネットワークを活用し、教育とキャリア支援の  
質向上へつなげる

○特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

○課題

国の教育訓練給付金制度や各種奨学金への支援体制を整備し、経済的負担の軽減に貢献。学生・保護者への制度の周知・申請サポート体制も継続して行っている。求人票を Web 上で共有できるシステムを導入し、学生・教職員間の情報交換が円滑になったが、就学支援制度や国家試験・就職活動の状況など、保護者が把握しきれていないケースもある

○今後の改善方策

担任・教務担当による保護者との個別進路相談（必要に応じてオンライン）を設け、学業・生活・進路についての不安を軽減していく。  
特に学業不振や休退学リスクがある学生の保護者とは、早期段階からの情報共有と対応連携が必要である。

○特記事項

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

○課題

コロナ禍以降、長期にわたって海外研修の実施ができていない留学生受け入れや国際的な医療連携が進む中で、学生の国際的視野や異文化理解の機会が限定的。  
空き教室の照明・換気設備の整備が不十分。  
教室の利用頻度が多い一方で、設備投資・維持が後回しにされている状況。

○今後の改善方策

状況を見ながら、段階的に海外研修プログラムの再開を検討。  
海外の歯科技工士歯科衛生士教育者・卒業生とのオンライン講演会や座談会を実施。学生の学習支援につながる施設の利便性改善（机・椅子・Wi-Fi等）

○特記事項

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

○課題

パンフレット・HP・SNS等の情報発信に教育成果のデータや事例が乏しい。  
オープンキャンパスや学校説明会でも、個別の支援や教育の強みが抽象的に伝えられている傾向がある。

○今後の改善方策

教育成果の「見える化」とデータの活用

国家試験合格率、就職率、卒業生の活躍状況、学生満足度など、数値化できる成果を整理・公開。

Before／After 形式で、入学からの成長や指導成果を動画で紹介。

(例：モデル学生の成長ストーリー)

○特記事項

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

○課題

18 歳人口が減少する中、財務基盤が安定するよう学校運営に必要な在籍者数を維持する取り組みを続ける。

○今後の改善方策

退学防止に努め在籍者数を維持する。より良い教育環境と教育施設設備の整備を進め、一番に選ばれる学校を目指す。

○特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1
・自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

○課題

〔 学生増加に伴い円滑に運営を行うために益々デジタル化が必須となる。 〕

○今後の改善方策

〔 ICT 促進により力を入れ、教職員の情報共有を強化する。 〕

○特記事項

〔 〕

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	④ 3 2 1

○課題

〔 コロナ禍以前から継続している「歯と健康祭り」等の地域ボランティア活動は再開し、100%の復旧率。しかし、新たな地域イベント・団体からの受け入れ依頼がない状態が続いている。地域との新たな接点が生まれておらず、貢献の幅が広がらないことが課題。 〕



○今後の改善方策

地域団体・行政・福祉施設等への聞き取り調査やアンケートを実施し、歯科衛生活動に対するニーズを把握。  
活動を通して得た成果（住民からの声、学び）を教育成果としてまとめ、学校評価にも反映へ。

○特記事項

（１１）国際交流

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 3 2 1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 3 2 1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 3 2 1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 3 2 1

○課題

2025 年度から中国人留学生が入学し、国際化への一歩を踏み出した。しかし、生活面まで一対一で支援する体制が不十分で、教職員の対応が授業や学習支援に偏り、生活支援（住宅、医療、買い物、文化理解など）に手が回っていない。留学生が孤立したり、学校生活に不安を抱えたりするリスクがある。

○今後の改善方策

学内に「留学生支援担当者」を明確に配置し、生活・文化面の相談窓口を設置。必要に応じて中国語対応可能なサポートスタッフや通訳ボランティアの協力を得る。地元自治体（国際課）や留学生支援団体との連携を図り、日本語教室・生活相談・地域交流イベントへの参加を促進。

○特記事項